

◆熊谷ゼミとは？

熊谷ゼミでは本を丁寧に読み、議論を深めるということをしています。具体的には、新書や小説・映画などを題材に、コメントペーパーやレジュメを作成をして発表します。コメントペーパーには感想だけでなく、疑問点も挙げてコメントするため、おのずと深く読書する力が身につきます。ゼミ生同士でグループに分かれて、議論することもあります。

◆熊谷ゼミは、ここがイイ！

①読書の習慣がつく！

→読書好きな方はもちろん、読書が苦手な方でも楽しく本を読み、深くものごとを考える力が身につきます。同じ本について語りあうことで、ゼミ生同士も自然と仲良くなれますよ。

②先生から丁寧に教えてもらえる！

→課題文献のわかりにくい箇所については、背景も含めて丁寧に教えてもらえるので深く理解することができます。

③部活やアルバイトとも両立できる！

→毎週の課題文献の量はそこまで多くないので、部活やアルバイトとも十分に両立可能です。

④レジュメの作り方やプレゼン方法を学べる！

→レジュメ作成で大事なことは、簡潔で見やすく作ることです。最初は慣れていなかったため、課題範囲を要約するだけで大変でしたが、普段受けている授業のレジュメや他のゼミ生の発表を参考にしているうちにレジュメ作成のコツが身についてきました。

◆こんな不安に対しては…。

①「政治学原論」の苦手意識が…

ゼミでは教員と学生の距離がとても近いので、わからないことでも質問できるし、丁寧に教えてもらえますから心配いりません！

②課題本が難しそう…。

参加者一人一人の興味関心や読書力にあわせて、先生が課題図書を選んでくれますので、心配いりません！今年宮崎駿監督の『君たちはどう生きるか』を鑑賞したうえで、ふたつの原作（吉野源三郎『君たちはどう生きるか』、コナリー『失われたものたちの本』）を読み進めています。